

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人が、変更後許可に係る無線設備を運用するためには、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出なければならない。
2. 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。
3. 総務大臣に運用開始の期日を届け出なければならない。
4. あらかじめ総務大臣の運用の許可を受けなければならない。

〔2〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の 等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 周波数の偏差及び幅、高調波の強度
2. 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差
3. 周波数の偏差、空中線電力の偏差
4. 高調波の強度、空中線電力の偏差

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、空中線電力50ワット以下の航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、何kHz以上の周波数の電波を使用するものか。次のうちから選べ。

1. 25,010kHz
2. 35,010kHz
3. 20,000kHz
4. 30,000kHz

〔4〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることがある場合はどれか。次のうちから選べ。

1. 当該無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
2. 当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 当該無線局が発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
4. 当該無線局が必要のない無線通信を行っているとき。

〔5〕 無線局の免許が総務大臣から取り消されることがあるのは、どの場合か。次のうちから選べ。

1. 免許状を失ったとき。
2. 運用許容時間外の運用をしたとき。
3. 免許状に記載されていない周波数の電波を使用したとき。
4. 正当な理由がないのに、無線局の運用を引き続き6箇月以上休止したとき。

〔6〕 無線局の免許が効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 3箇月以内に総務大臣に返納する。
2. 直ちに廃棄する。
3. 1箇月以内に総務大臣に返納する。
4. 2年間保管する。

航空特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
2. 無線通信は、長時間継続して行つてはならない。
3. 必要のない無線通信は、これを行つてはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 次の記述は、航空機局の運用に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空機局の運用は、その航空機の □ に限る。ただし、受信装置のみを運用するとき、電波法第52条各号に掲げる通信を行うとき、その他総務省令で定める場合は、この限りでない。」

1. 航行中
2. 航行中及び航行の準備中
3. 整備中
4. 離陸時及び着陸時

〔9〕 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときは、なるべく何を使用しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 擬似空中線回路
2. 水晶発振回路
3. 高調波除去装置
4. 空中線電力の低下装置

〔10〕 次の記述は、航空局の聴守電波について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空局の聴守電波の型式は、□ とし、その周波数は、別に告示する。」

1. F 3 E
2. H 3 E
3. R 3 E
4. A 3 E 又は J 3 E

〔11〕 121.5MHzの周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 121.5MHz以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
2. 電波の規正に関する通信を行うとき。
3. 気象の照会のため航空局と航空機局との間で通信を行うとき。
4. 時刻の照合のために航空機局相互間において通信を行うとき。

〔12〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 反復
2. 各局
3. 再びこちらを呼んでください
4. 誰かこちらを呼びましたか